

2020年7月10日 第331号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター 激しい雨の中「9の日」宣伝

敵基地攻撃は憲法違反!

憲法に則し、災害対策・コロナ対策を!

憲法共同センターは7月9日夕、激しい雨が降る中、短時間でしたが新宿駅西口で「9の日」宣伝を行い、8団体18人が参加。東京ではコロナウイルスへの感染者が224人となり、再び感染が広がっており、九州をはじめ各地で豪雨災害が起きている状況のもとでの宣伝となりました。安倍政権は、兵器を爆買いしている場合ではなく、憲法に則し国民のいのち・暮らしへの対策を早急に行う、そのために税金を使うべきです。引き続き、全国から声をあげていきましょう。



全労連の小田川義和議長はコロナ対策について「口先だけのやっている感ではできない。PCR検査は1日1000~8000件、安倍首相は1日2万件実施すると約束したが程遠い。憲法に則し、自衛と補償は一体で、検査・医療体制を充実させることが重要。安倍首相は憲法を守る姿勢がない」と批判しました。イージス・アショアの配備が撤回され、敵基地攻撃能力についての議論がされていることについて、「やられる前にやるという先制攻撃であり、そのための武器配備などについて議論することは憲法違反だ」と指摘。「コロナ対策などでの支出が増大している中でも軍事費見直しの議論はされていない。米軍と一緒に戦争をする、敵基地攻撃をするということでは、国民

のいのち・暮らしを守ることはできない。憲法を生かす、改憲を許さない、戦争する国を許さないと声をあげよう」と呼びかけました。

憲法会議の高橋信一事務局長は「アメリカ兵器の爆買いの柱であるイージス・アショアの配備が撤回された。ハワイやグアムを守るためのものであり、撤回は当然だ。こうした無駄なお金は自然災害対策やコロナ対策に使うべき」と指摘しました。

農民連の町田常高さんは反対してきた種苗法改正案が先の国会での成立が断念されたことなどについて述べ、「検察庁法案のように声をあげれば政治は変えられる。安心・安全にくらせる社会にするため声をあげよう」と呼びかけました。

当面の日程

7月19日(日)15時~ 総がかり行動実行委員会「19日行動」 国会議員会館前

●兵庫

神戸市 9 区憲法共同センター交流集会

改憲策動ストップ 憲法が生きる社会を

毎月定例の神戸市9区の憲法共同センター交流会議を7月4日に開催、充実した討議となりました。情勢報告として津川知久代表は、①今国会も改憲への「入り口突破」を阻止した、この運動経過を確信にしよう、②コロナで私たちが政治に大きく近づいた大変化、この共有を、③とりわけ数十年にわたる「新自由主義」への批判が浮上し「コロナ後の社会改革」へ展望が出てきている、④米黒人拘束死事件から、全世界に広がった人権闘争の広がりや世界的な歴史認識を深めていること、などをリアルに解説しました。

その上で、この夏から秋、そして2021年への政治日程とそのなかでの改憲派の動向も話し、憲法共同センターとして取り組むべき3つの方向、①憲法の生きる社会へ、特に中心をコロナ対策で、②どさくさまぎれの改憲策動をストップさせる、そのためのピリオド署名拡大を、③地域毎に多様な要求実現へ向けた共同を、総選挙もにらんで強化、等を提起しました。

*兵庫では、「改憲発議反対全国緊急署名」を「ピリオド署名」と名付けて取り組んでいます。

各区センターからの発言

【東灘区】6月から再開、スタンディングだけでなく署名もと、6/29から開始すると、若い人や女性がピラ受け取りや署名も多く、関心がガラリと変化していることを実感。9条の会や市民アクションの行動も同様。8月に総会を成功させ飛躍させる。

【灘区】オール灘区の会が全面展開。署名を机に置き、消費税など幾つかの署名簿も並べて好評。リリーススピーチを聞き、若い人たちが集団で戻ってきて署名をしてくれている。区内各地で共産党がやっているコロナ相談活動にオール灘区の会も共同して行っている。

【中央区】7/3は雨天だったが「3の日行動200回目」記念として、横断幕3枚を並べスタンディングとスピーチ。すっかり市民権を得た。自衛隊問題は、要求実現する会として早急に取り組む。

【兵庫区】「個人情報渡さない兵庫区民の会」として区内で署名活動開始。ただ「自衛隊への共感」もあるので、個人のプライバシーや憲法9条との関係で訴え。コロナで小学1年生の子が可哀想な事態となっており、直ぐにも20人学級にさせる必要を感じる。

【長田区】区内で行動再開させている。新婦人支部の長田神社での行動では、署名を机に置き、ボールペンの消毒をしながら取り組んでいて好評。昨日の会議では「津川代表による政治情勢の変化」でしっかり学習。7/23市民と野党共同による「内田樹講演会」成功にむけ全力をあげている。

【須磨区】6月に集めた区内各団体の署名249筆を持参。神戸市は6月に電子名簿を自衛隊へ提供するが、須磨区ではまだ全団体の理解が進んでいないので、若い人たちが犠牲にならないよう準備を広げる。

【垂水区】自衛隊問題は、「青年のプライバシー、青年の未来を守りましょう」を前面に出しながら、区内のターミナル6カ所で街頭署名に取り組んでいる。

【西区】5月からさまざま活動を再開、スタンディングを軸に広げ、いま署名も各団体が仕切り直して進めている。7/19に総会を開き、さらに飛躍させる。

「私の一言」届いています! その10

憲法共同センター「憲法リーフ」の署名ハガキが返信されて来ています。そこにある「私の一言」欄に寄せられた言葉を紹介します。

憲法を守り、いかにすることがどんなに素晴らしい世界にすることができるか。もっともっと深く憲法を学びたいと思います(石川県白山市から)。

トランプ大統領言いがりの政治は許されない。兵器の爆買い、海外派兵、日米地位協定のあまりに不平等な内容を独立国らしい対等な関係にしましょう(北海道美唄市から)。